

議決のあらまし

議員提案
「ESD条例」を可決

平成26年9月定例会市議会に市長が提案した議案で、最終日の9月26日に表決を行った議案は61件（予算案3件、条例案19件、その他39件）、議員が提案した議案は1件（条例案）でした。

そのうち、平成26年度岡山市一般会計補正予算（第2号）など6件の議案については、一部の議員から反対がありましたが、すべての議案を原案可決・同意しました。これにより、補正予算額は、一般会計13億9,064万円余、特別会計910万円余を合わせた13億9,974万円余の増額となり、予算総額は、5,428億4,466万円余となりました。

可決した主な議案

議決結果は市議会ホームページに掲載しています。

予算

- 平成26年度岡山市一般会計補正予算（第2号） 13億9,064万4,000円
- 私立保育園施設整備助成事業 6億5,139万2,000円
保留児童の縮減を図るため私立保育園を新設等整備するもので、国の「待機児童解消加速化プラン」を活用し、保育ニーズが高い地域の7園の整備費を助成。
- 水痘（水ぼうそう）ワクチン定期接種事業 4億2,806万円
生後12カ月以上36カ月未満の幼児にワクチンを定期接種。
- 土木施設災害復旧事業 1億円
7月20日の集中豪雨による被害（市道 伊島町二丁目吉宗線）の復旧。
- 本庁舎構内駐車場有料化に伴う整備事業 1,240万円
市役所構内駐車場を土日祝日有料化するための施設整備。
- 防犯カメラ設置支援事業 600万円
犯罪の抑止に寄与する防犯カメラを設置する町内会等住民団体に対し補助金を交付。

条例

- 持続可能な開発のための教育の推進に関する条例（愛称 E（えーものを）S（子孫の）D（代まで）条例）の制定
豊かな環境と調和のとれた経済の発展を図りながら持続的に発展することができる社会を構築するため、ESDの推進に関し、基本理念を定め、それぞれの責務を明らかにすることにより、現在および将来の市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。
- 子ども・子育て支援新制度に伴う条例の制定4件

決算審査特別委員会の設置

決算審査特別委員会の委員名簿は市議会ホームページに掲載しています。

平成25年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算および剰余金処分議案が9月定例会市議会に提案されました。これらの決算等を審査するため各特別委員会を設置し、閉会中に審査を行います。その審査結果については、11月定例会市議会で報告する予定です。

一般会計決算審査特別委員会	特別会計決算審査特別委員会	企業会計決算等審査特別委員会
委員長：田口 裕士	委員長：田尻 祐二	委員長：浦上 雅彦
副委員長：林 潤	副委員長：松島 重綱	副委員長：森脇 浩之

●陳情の結果

●採択した陳情（5件）

- ①私学助成の拡充を求める意見書の提出について
- ②教育の一層の充実をはかるための2015年度政府予算に関する意見書の提出について
- ③難病対策を法制化し^{※1}シャルコー・マリー・トゥース病を医

療費助成対象とすることに関する意見書の提出について

- ④「岡山市水洗便所改造等補助金制度」の継続実施について
- ⑤図書館の早期建設について

●不採択とした陳情（1件）

- ①憲法解釈変更の閣議決定の撤回を求める意見書の提出について

●可決した意見書

- ①私学助成の充実と私立高校の実質無償化を求める意見書
- ②私学助成施策の充実を求める意見書
- ③シャルコー・マリー・トゥース病をはじめとする難病対策に関する意見書
- ④教育の一層の充実をはかるための2015年度政府予算に関する意見書

／用語解説 ※1 【シャルコー・マリー・トゥース病】

下腿と足の筋萎縮と感覚障害を特徴とし、進行すると上肢や手にも障害を生じる末梢神経疾患

議会トピックス

全国市議会議長会研究フォーラムを開催

平成26年8月6日・7日に、岡山シンフォニーホールで「第9回全国市議会議長会研究フォーラムin岡山」が開催され、全国から約2,000人の参加がありました。

8月6日の第1部では、野村総合研究所顧問・東京大学公共政策大学院客員教授 増田寛也氏より、「人口減少時代と地方議会のあり方」と題して基調講演がありました。また、第2部では、明治大学教授 牛山久仁彦氏をコーディネーターとして迎え、「分権改革20年と地方議会のあり方」をテーマにパネルディスカッションが行われました。翌7日には、政策研究大学院大学副学長 横道清孝氏をコーディネーターとして迎え、「議会のあり方について」をテーマに課題討議が行われました。



則武議長を含む5人のパネラーによるパネルディスカッション



増田氏による基調講演

議員研修会を開催

平成26年8月22日、倉敷アイビースクエアで第46回岡山市議会議員研修会が開催され、県下15市の議員、事務局職員が参加しました。中央大学大学院教授 佐々木信夫氏による「地方議会をどう変えるか」と題した講演がありました。

また、平成26年9月定例市議会初日（9月2日）本会議終了後、岡山大学教育学研究科保健体育科 高岡敦史氏を講師に迎え、「地域活性化とスポーツ」と題した岡山市議会議員研修会を開催しました。

両研修会とも、講演後には熱心な質疑応答が行われました。



岡山市議会議員研修会～本会議場～

市 議 会 日 誌

【7月】

29日 市民文教委員会

【8月】

8日 議会運営委員会

都市活力・大都市制度調査特別委員会

18日 議会運営委員会

26日 議会運営委員会

27日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会及び同協議会

【9月】

2日 9月定例市議会開会

8～10日 6会派による代表質問

11～18日 26人の議員による個人質問

18日 一般会計決算審査、特別会計決算審査、企業会計決算等審査特別委員会

22日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会

25日 議会運営委員会

26日 9月定例市議会閉会

29日 公共施設マネジメント調査特別委員会

【10月】

2日 一般会計決算審査特別委員会

6日 企業会計決算等審査特別委員会

7日 一般会計決算審査特別委員会

8日 一般会計決算審査、特別会計決算審査特別委員会

9日 特別会計決算審査特別委員会

14日 一般会計決算審査、特別会計決算審査、企業会計決算等審査特別委員会

15日 議会運営委員会

委員会行政視察レポート

各委員会は担当する課題についてさまざまな調査、研究を行っています

保健福祉委員会

浜松市では放課後児童クラブの運営等について、京都市では要介護になった高齢者が地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・福祉・大学等の関係団体により設立された「京都地域包括ケア推進機構」と、保育所・幼稚園、官民の壁を越えた子育て支援中核施設である「京都市こどもみらい館」を、神戸市では、コンピュータネットワークを活用して障がいを持つ人の社会参画、就労支援を行っている「社会福祉法人プロップ・ステーション」の先進的取り組みについて調査しました。



京都地域包括ケア推進機構 (京都市)



アクトシティ浜松 (浜松市)

経済委員会

京都市では、農産物のブランド化等の高付加価値化について調査し、さらに、まちなかのにぎわいづくりという観点から、民間の複合商業施設を訪問し、現地視察と併せて意見交換をしました。浜松市では、コンベンション機能等について市と民間が共同開発した複合施設「アクトシティ浜松」を視察しました。また、岐阜市の中央卸売市場では、取扱高の減少問題や施設の老朽化への対応等について調査しました。

建設委員会

福岡市では、まちなかの顔ともいべき市街地にある公園の再整備について、景観とにぎわい、防犯対策の観点から調査しました。宮崎市の宮崎処理場では、下水処理で発生する消化ガスによる発電や民間企業へのガスの売却、処理水の公園水路での再利用について調査し、鹿児島市では、市街地の回遊空間づくりについて、市民・行政協働で検討を行った取り組みについて調査しました。



宮崎処理場 (宮崎市)

市民文教委員会

名古屋市では、いじめなどの問題に対応するため、常勤のスクールカウンセラー等を学校に配属する「なごや子ども応援委員会」および本市と名古屋市で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」に向けた愛知県の取り組み状況について調査しました。可児市では、多目的ホールとさまざまな文化創造空間・練習施設を持ち、建設・運営に市民参加を取り入れた総合文化施設「可児市文化創造センターala」を調査しました。



可児市文化創造センターala

議会運営委員会

札幌市および仙台市では、予算審査特別委員会による予算審議の方法について、その経緯、委員会の構成や運営方法および効果等について調査しました。

特に札幌市では、二つの予算審査特別委員会での審査を分担しているという特徴があり、その効果や運営上の問題点などについて調査しました。



仙台市役所